



## 笹刈刃目立て装置「キマル」

### 取扱説明書

Ver.20141214



このたびは、キマル技研の目立て装置「キマル」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書を最後までよくお読みください。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

## 安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」のすべてをよくお読みいただき、各部の働き及び使用方法を正しく理解し、説明に従って使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



### 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
  - ・ 間違った操作や使用をされると、けがの原因となります。
2. 使用する際は、作業場をきれい拭きつけてから作業してください。
  - ・ ちらかった場所での作業は、事故やけがの原因となります。
3. 作業場の環境に配慮してください。
  - ・ 平らな場所で作業してください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 電動工具を使う場合は、雨中や濡れた場所等では作業しないでください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 作業員以外の他者、特に子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、チェンソーやグラインダー、刈刃、目立て装置に触れさせないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で子供の手の届かない錠のかかる所に保管してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ 作業中は常に手袋を着用し、履物は滑りにくいものを使用してください。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
7. 作業台や、目立てをするチェンソーならびに目立て装置はしっかりと固定してください。
  - ・ 固定が不十分だと、作業台やチェンソー等が傾いたり落下して、事故やけがの原因となります。
  - ・ 無理な操作をすると、破損やけがの原因となります。
8. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
9. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、チェン刃、ガイドバーや装置破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、事故やけがの原因となります。

## 目次

1 .	はじめに .....	4
2 .	歯車盤のクロスネジと押さえ盤を取り外す.....	5
3 .	歯車盤に笹刃を取り付ける.....	6
4 .	刃先の削り量を確認する .....	7
5 .	目立てをする.....	8
6 .	反対面の目立てをする .....	9
7 .	目立て仕上り.....	10

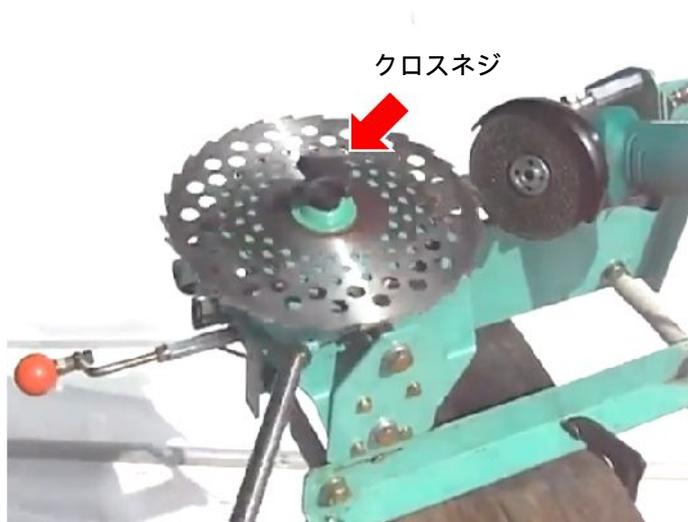
## 1.はじめに

- 刈払機用の笹刃（笹刈刃、刈刃）は、大変に切れ味が良く、再目立ても可能で、効率を重視する刈払機作業プロの必須アイテムです。しかし広い面積の草刈りを行うとなると、笹刃の目立てに要する時間も労力も大変なものです。
- さらに、従来の感と経験に基づく目立て方法で再目立てを繰り返すと、各刃先形状が不揃いになってしまいバランスが崩れて、刈払機の最大の敵である振動発生の元凶になってしまいます。
- しかし、キマル（笹刃用）を使えば、自動的にヤスリをあてる角度や強さを一定に保つことができ、誰でも簡単・正確・スピーディーに、バランスを崩すことなく笹刃の目立てが行えます。
- キマルがあれば、面倒な目立て作業を気にせずに、常に切れ味最高の笹刃を使用して、ストレスなく安全で効率の良い作業が出来ます。
- 作業を始めるにあたっては、火花が散りますので、革手袋、保護メガネ、帽子、長袖・長ズボン**必ず着用**して下さい。また、必要に応じて防塵マスクや耳栓などの保護具も使用して下さい。

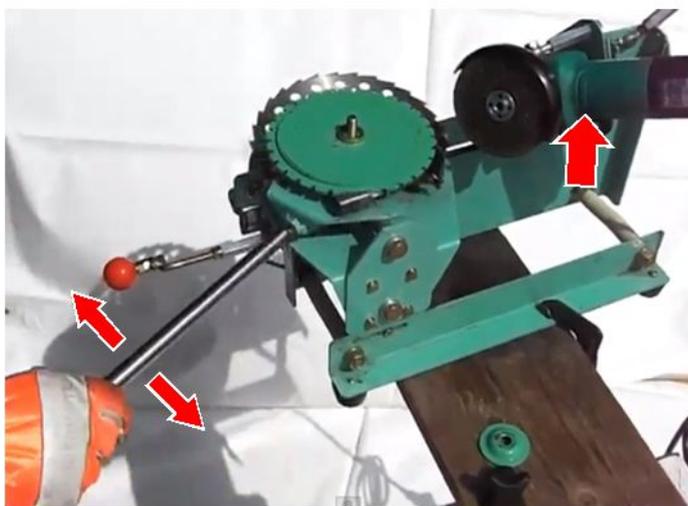


## 2. 歯車盤のクロスネジと押さえ盤を取り外す

- 歯車盤の「クロスネジ」を回して、クロスネジと押さえ盤を取り外して下さい。



- 次に、グラインダーのニギリ部を上にあげ、「主ハンドル」を左右に動かして「前固定ツメ」と「テーブルツメ」が交互に歯車盤の刃先に噛み合い、確実にピッチ回転する事を確認して下さい。



### 3. 歯車盤に笹刃を取り付ける

- 「主ハンドル」を制限一杯まで左に倒し、歯車盤を最前方の位置にしてください。
- 次に、回転台に笹刃を置き、クロスネジを軽く”仮締め”して下さい。



- 笹刃径の大小があるため、「送りハンドル」で歯車盤を前後に動かして、刃先の外周弧が砥石削り面に軽く触れる位置に調整して下さい。
- 次に、右手で「主ハンドル」を制限一杯まで左に倒して位置決めをしてから、左手で笹刃を時計回り（写真の矢印方向）に軽く押し、切刃部を砥石外周削りに軽く押し付けた位置で、「クロスネジ」を一杯まで強く締め付けてください。



- 以上で、笹刃のセットは完了です。

#### 4. 刃先の削り量を確認する

- グライダーのスイッチを入れる前に『空目立て』をして、刃先の砥石削り面への当たり具合を調整します。
- 「主ハンドル」を左から右に倒すと、笹刃が前方に移動して、刃先弧が砥石削り面に触れて動きます。この時に当たりに過不足がある場合は、「送りハンドル」で当たりを調整します。
- 次に、「主ハンドル」を制限一杯まで右に倒してから左にすると、砥石削り面に当たる刃先が一つ飛んだ次の刃先に進みます。この時に切刃部と砥石の当たりに過不足がある場合は、「グラインダーハンドル」で切刃部の削り量を調整して下さい。



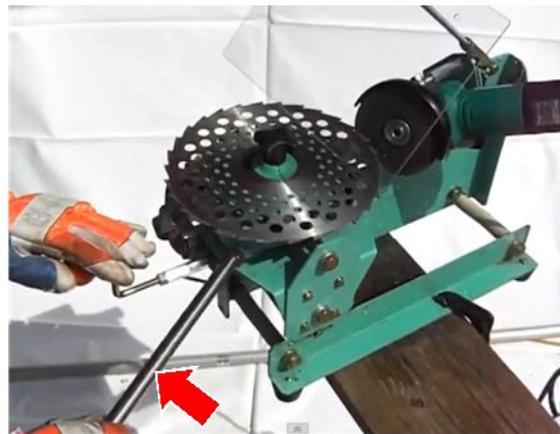
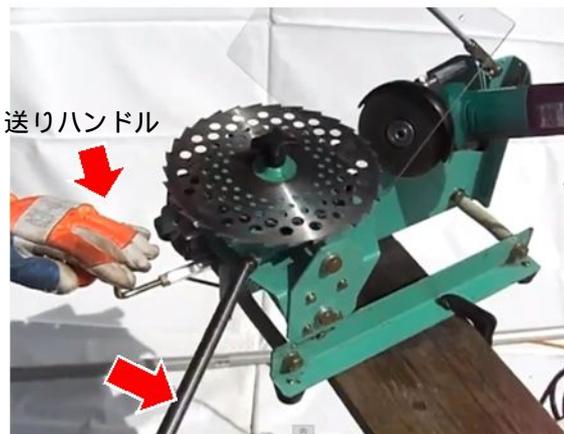
- 最後に、必ず再度「主ハンドル」を左右に動かして、刃先を先に進めながら刃先と砥石の当たりを確認して、刃先の削り過ぎが無いように調整して下さい。

## 5. 目立てをする

- 刃先の削り量の確認が済んだら、「火花よけカバー」を被せます。



- 次に、「主ハンドル」を右一杯にして砥石から刃先を離し、安全を確認してからグラインダーのスイッチを入れ、目立てを開始します。
- 「主ハンドル」を右一杯から左へゆっくりと倒すと、笹刃が前方に移動して、切刃部がグラインダーの砥石に当たり研磨されます。
- 「主ハンドル」を左一杯にしてから右に戻すと、笹刃が偏心回転をして、今度は刃先弧を研磨します。
- 「主ハンドル」を、さらに右一杯にしてから左に戻すと、一つ飛んだ次の切刃部に移動します。
- 上記の作業を繰り返して、表面（片側）の刃の目立てを行います。
- ここで刃先と砥石の当たりが足りない場合は、「送りハンドル」を左（反時計回り）に回して、削り量を調整して下さい。

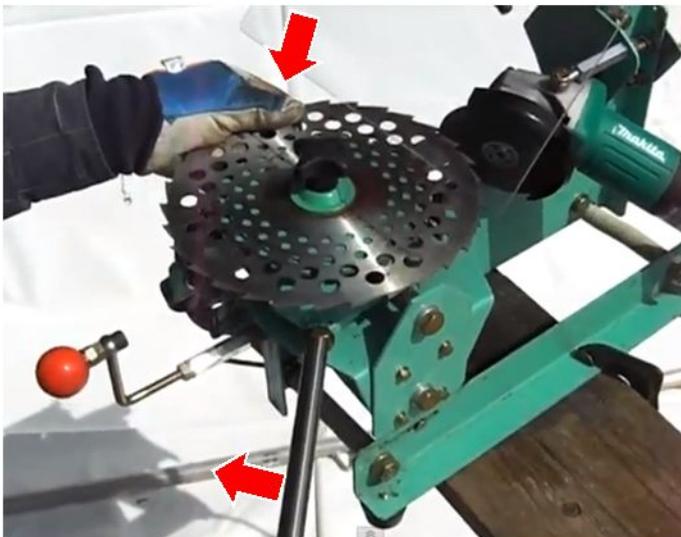


## 6. 反対面の目立てをする

- 表面（片側）の刃の目立てが済んだら、グラインダーのスイッチを切り、グラインダーのニギリ部を下に倒して、砥石削り面が裏刃に当たるようグラインダーの向きを変えます。



- 次に、笹刃の回転を左手で押さえながら、「主ハンドル」を右一杯から少しだけ左に倒すと、これまで2ピッチで爪送りしていた回転が、1ピッチ先にずれます。



- 「主ハンドル」を左右に動かして、裏刃先に砥石が当たっていることを確認してから、グラインダーのスイッチを入れ、上記の作業を繰り返して反対面の刃の目立てをします。
- 以上でキマルを使った目立て作業は完了です。
- 慣れてくれば、キマルを使うことで、一枚の笹刃の目立て作業を分と掛からずに済ませることができます。

## 7. 目立て仕上り

- 左右千鳥に切刃が向いた笹刃を一遍に目立てることが出来るのが、笹刃目立て装置「キマル」の特徴です。
- さらにアサリ割りをすると、木まで本当によく切れます。木がよく切れるということは、笹も草も、みな本当によく切れます。



部品ご入用、故障の場合、その他取り扱いご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問合せください。

改良のため断りなく仕様・外観などを変更することがあります。

## キマル技研 (旧称 北川原技研)

〒387-0023 長野県千曲市大字八幡 1543 番地

Tel/Fax : 026-272-5068

e-mail: [info@kimaru-giken.com](mailto:info@kimaru-giken.com)

www: [http:// kimaru-giken.com/](http://kimaru-giken.com/)